



たたら純一

活動報告

2期 Vol.11

純ちゃん



魅力ある宇佐市へ

日頃より後援会への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。
 あけましておめでとうございます。本年も皆さんの声の実現出来る様、地道な活動を推進して参ります。
 12月議会では新型コロナウイルスの第6波に向けた取り組み状況やゼロカーボンシティを目指す取り組みから宇佐市版地球温暖化対策実行計画の進捗状況と特別養護老人ホームの食費の問題など質問致しました。
 今後に於きましても市民の皆様の御意見をしっかりと市政へ届けて参りますので今後も宜しくお願い致します。

多田羅純一

活動報告

<地域貢献活動>

<2021/10/31・11/3・11/7開催>

第6回 少年軟式野球大会開催



規模を縮小し、24チーム参加のもと大会が行われ、駅館スポーツ少年団が優勝。私はメダル授与の手伝いをさせて頂きました。

少女バレーボール大会 中止



昨年に続き、今回も残念ながら中止となりましたが前回参加された各チームへボールを郵送。又、バレーボール協会へボール・ネット・アンテナ・線審フラッグを寄贈しました

「市民の皆様からの要望です。」

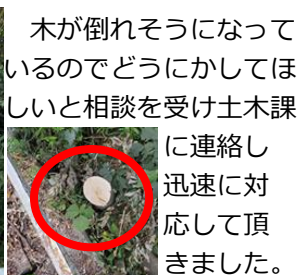
<支障木伐採依頼>



実施前



実施後



四日市地区

木が倒れそうになっているのでどうかしてほしいと相談を受け土木課に連絡し迅速に対応して頂きました。

<通学路の安全対策>



実施後



北宇佐地区

宇佐高校への通学路でガードレールが飛び出していると相談を受けました。担当課へ依頼し、形状を変更しサビている所は白く塗装しました。

議会報告

12月定例会は11月30日に開会し、専決処分と令和3年度宇佐市一般会計補正予算(第12号)や特別会計補正予算、議案条例の改正など22議案と諸報告を市長から提案され、全議案を可決し、その後追加議案も可決しました。その他詳細は議会報・宇佐市ホームページ掲載を御覧下さい。

<専決処分> 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種にかかる費用・・・53,200千円

今回の補正額 517,700千円: 追加補正予算 1,785,000千円 :累計予算額 34,716,100千円

<地方創生関連・大規模自然災害対策>

- ・宇佐市ふるさと応援基金事業・・・70,000千円
- ・障害者通所給付金・・・58,457千円
- ・次代へ繋ぐ園芸産地整備事業・・・6,158千円
- ・小中学校教育システム最適化事業・・・6,392千円
- ・ため池等整備事業・・・12,292千円

<追加議案一般会計補正予算(第14号)>

- ・子育て世帯への臨時特別給付金事業・・・409,000千円
- ・住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業・・・1,064,700千円
- ・地域消費喚起プレミアム商品券支援事業・・・161,100千円
- ・主食用水稲生産継続支援対策事業・・・134,200千円
- ・地域食材供給施設管理事業・・・16,000千円

問 1. 新型コロナウイルス感染症について

【質問】 第6波感染拡大防止に向けた今後の取り組みはどの様に考えているか

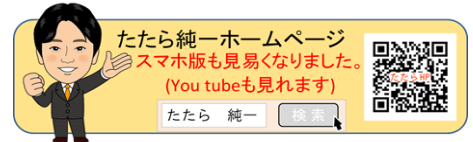
<答弁> 基本的感染防止対策の徹底と3回目接種について希望者が接種出来る様準備を進めると共に医療提供体制の確保を行う

【質問】 ブースター接種(3回目の接種)の課題はないのか

<答弁> 国が1.2回目と異なる種類のワクチン接種を認めた事で市民が混乱しない様十分な説明に努める

【質問】 年末年始、期間限定で抗原検査センターの再開は検討出来ないか

<答弁> 今後、感染拡大期には国や県が無症状者への無料検査の実施を検討している



問 2. ゼロカーボンシティを目指す取り組みについて

【質問】 市内の再生可能エネルギーの利用促進はどのような状況か

<答弁> 現在、再生可能エネルギーの導入を積極的に進めるため、「地球温暖化対策実行計画」の見直しを行っており、市民向けに「蓄電池購入補助金」を創設するなどの取り組みをおこなっている

【質問】 宇佐市温暖化対策実行計画書の「地域環境の整備及び改善」項目の中でバリアフリー化を進めるとあるが現在の進捗はどのような状況か伺う

<答弁> 庁舎や市営住宅、学校等の公共建築物の建替えや改修等に際しバリアフリー化を進めており、現在整備を進めている JR 柳ヶ浦駅の多目的トイレを新設しており、今後駅前広場についてもバリアフリー化に取り組む

【質問】 循環型社会の構築を目指す為、更なるゴミの分別や再資源化はどのように考えているか伺う

<答弁> ゴミの軽量化及び再資源化に対する啓発を図ると共に様々な資源回収や拠点回収によりごみの分別・再資源化に取り組んでいる。今年度より、家庭で不要になった食料品の中で活用できるものを市社会福祉協議会を通じて子ども食堂などへ届ける取り組みを行っている。

問 3. 特別養護老人ホーム等の食費について

【質問】 本年8月、介護保険改正により食費が2倍になり毎月2万円を超える負担となっている利用者に対し、急変緩和措置や支援制度が必要と考えるが市の見解を伺う

<答弁> 低所得者に対する介護保険料や利用料の軽減策については国の責任において財政措置を含め総合的かつ統一的な対策を講じるよう抜本的な見直しを行うこと等全国市長会を通じて国に要求しておりますが今後とも改正の趣旨説明を丁寧に行い、理解を求めていく

問 4. 宇佐ブランド認証について

【質問】 現在の登録商品数はどのくらいあるのか

<答弁> 現在 53 事業者、105 商品が認定されている

【質問】 ブランド認証されるとどの様なメリットがあるのか

<答弁> 専門家によるパッケージデザイン作成や販路開拓などの支援にも優先的受けられる

【質問】 登録商品の更なる販路拡大はどの様に取り組まれているか

<答弁> 今年度は新たに株式会社岩田屋三越のバイヤーへ売り込みのほか、東京の県公式アンテナショップ「坐来大分」での陳列販売などを実施し、販路拡大に繋がるよう取り組んでいる



宇佐ブランド認証ロゴマーク

問 5. 農業者支援について

【質問】 昨年と比べ米価が大きく下がり、農家の経済的支援が必要ではないかと思うが市の見解を伺う

<答弁> 農業者の生産意欲を喚起し農業経営の安定を図るため、何らかの支援を行う方向で検討する



12月補正で**決定**⇒主食用水稲生産継続支援対策事業

令和3年産米の価格が大幅に下落し、経営の維持が厳しい状況にある主食用水稲の生産農家を支援するため次期作に向けた生産費の一部を助成する

【助成対象者】 市内に住所を有する個人・法人で令和3年産の主食用水稲を生産・販売した農業者
(作付面積 10a 以下の農業者は対象外)

【助成金額】 4000 円/10a ※1 件につき自家消費分として 4000 円(10a 分)を支給額より控除する